

おかげさまで納入数10億個を達成！

一般機器用フィルムコンデンサ『CMEシリーズ』

「CMEシリーズ」の販売を開始したのは、今からおよそ半世紀前の1975年。当時、エアコンはまだ普及前で、主流だった扇風機はモータ部分が今よりも遥かに大きなものでした。こうした中、お客様のニーズと徹底的に向き合って開発されたCMEシリーズは、小型・軽量かつ高性能なフィルムコンデンサとして市場に迎えられ、ピーク時は秋田指月でおよそ260万個を製造した月もあります。

はじめは扇風機、天井扇用として採用され、それから時代に合わせてエアコンやIH機器、小型のパワーエレクトロニクス製品など、次々と用途を広げてきました。発売から50年近く経った現在も、日本国内においては換気扇、レンジフード、除湿機に向けて、海外ではポンプや天井扇に向けた需要が大きく、この度、納入数10億個を達成することができました。これからも機器の進化によって生まれる新たなニーズにもしっかりと対応し、これまで以上にご愛顧いただけるよう、生産に取り組んでまいります。



『CMEシリーズ』の特長とは？

CMEシリーズは、万が一、絶縁破壊が生じてもコンデンサを安全に電気回路から切離し、発火・発煙を防止する“保安機構”付きで、高い安全性を備えています。また、高い安全性を求められる海外規格UL(アメリカ)、CSA(カナダ)、IEC(ヨーロッパ)の認証品もラインナップしています。



ありがとう、10億個。日本中の換気扇を回し続けて、半世紀。

今日は、私の憧れの大先輩を紹介するわ。その先輩は「CMEシリーズ」と呼ばれていて、モータを駆動させて換気扇の「羽」を回す仕事をしているの。高い安全性や信頼性で国内トップシェアのメーカーさんにも認められて、日本中で活躍しているフィルムコンデンサなのよ。あなたのお家のキッチンやトイレ、バスルームにも、きっとどこかに先輩がいるはず。それにしても、ずっと換気扇を回し続けているおかげかしら？ 発売から50年近く経っても、10億個を達成しても、ずっと爽やかなのよね。これからも、憧れの先輩でいてくださいね。

